

[POINT] 主語 (Subject) になるもの

英語の文において、主語は文の動作を行う者や状態を表す者です。主語になるものには、名詞、代名詞、名詞句、名詞節、動名詞、不定詞があります。以下に、主語になるものを詳細に説明します。

1 名詞 (Noun)

The cat is sleeping. 猫が寝ています。

John plays soccer. ジョンはサッカーをします。

2 代名詞 (Pronoun)

She is reading a book. 彼女は本を読んでいます。

They went to the park. 彼らは公園に行きました。

3 名詞句 (Noun Phrase)

The big brown dog barked loudly. 大きな茶色の犬が大声で吠えました。

A group of students is coming. 学生の一団が来ています。

4 名詞節 (Noun Clause)

What he said is true. 彼が言ったことは本当です。

That she is happy is obvious. 彼女が幸せだということは明らかです。

5 動名詞 (Gerund)

Swimming is fun. 泳ぐことは楽しいです。

Reading books is enjoyable. 本を読むことは楽しいです。

6 不定詞句 (Infinitive Phrase)

To travel around the world is my dream. 世界中を旅行することが私の夢です。

To learn English is important. 英語を学ぶことは重要です。

☑️句 (phrase) と節 (clause) の違い…動詞が含まれているかどうかです。

句 (phrase): 動詞を含まない単語のまとまりです。文の一部として機能しますが、完全な意味を持つ文にはなりません。

例: a beautiful garden 美しい庭

節 (clause): 動詞を含む単語のまとまりです。主語と述語がそろっているので、完全な文になることもあれば、文の一部として機能することもあります。

例: She went to the store. 彼女は店に行きました。

[POINT] 補語 (Complement) になるもの

補語は、主語や目的語についての情報を補足する要素です。補語は、主語補語 (Subject Complement) と目的語補語 (Object Complement) に分けられます。補語になる名詞は、主語や目的語と同種でなければなりません。

主語補語 (Subject Complement)

1 名詞 (Noun)

He is a doctor.

彼は医者です。

a doctor は名詞で、主語 He を補足します。ここでは、主語 He と補語 a doctor は同種です。

2 形容詞 (Adjective)

The sky is blue.

空は青い。

blue は形容詞で、主語 The sky を補足します。

3 不定詞 (Infinitive)

His dream is to become a doctor.

彼の夢は医者になることです。

to become a doctor は不定詞で、主語 His dream を補足します。

4 動名詞 (Gerund)

Her hobby is reading.

彼女の趣味は読書です。

reading は動名詞で、主語 Her hobby を補足します。

5 名詞節 (Noun Clause)

The problem is that we don't have enough time.

問題は私たちに十分な時間がないということです。

that we don't have enough time は名詞節で、主語 The problem を補足します。

6 疑問詞節 (Wh-Clause)

The question is how we can solve the issue.

問題は私たちがどのようにその問題を解決できるかです。

how we can solve the issue は疑問詞節で、主語 The question を補足します。

目的語補語 (Object Complement)

1 名詞 (Noun)

They elected him president.

彼らは彼を大統領に選びました。

president は名詞で、目的語 him を補足します。ここでは、目的語 him と補語 president は同種です。

2 形容詞 (Adjective)

She painted the wall blue.

彼女は壁を青く塗りました。

blue は形容詞で、目的語 the wall を補足します。

[POINT] Ving の識別

1 名詞 (Noun) …主語、目的語、補語として使われる」

主語: The building is tall. その建物は高いです

目的語: She works in a building. 彼女は建物の中で働いています

2 動名詞 (Gerund) …主語、目的語、補語として使われる」

主語: Running is fun. 走ることは楽しいです

目的語: I enjoy swimming. 私は泳ぐことを楽しみます

補語: Her job is teaching. 彼女の仕事は教えることです

3 現在分詞 (Present Participle) …be 動詞と組んで現在進行形をつくる」

She is running. 彼女は走っています

They are studying. 彼らは勉強しています

4 現在分詞 (Present Participle) … 名詞を修飾する形容詞として使われる(名詞を前から修飾)

The running man caught everyone's attention. 走っている男は皆の注目を集めました。

The crying baby needs to be comforted. 泣いている赤ちゃんはあやす必要があります。

5 現在分詞 (Present Participle) … 名詞を修飾する形容詞として使われる(後置修飾)

The girl standing by the window is my sister. 窓のそばに立っている少女は私の妹です。

The cat sleeping under the tree looks comfortable. 木の下で寝ている猫は快適そうです。

6 現在分詞 (Present Participle) … 補語として使われる(主格補語)

She sat watching the sunset. 彼女は座って夕日を見ていました。

He walked down the street singing a song. 彼は歌を歌いながら通りを歩きました。

7 現在分詞 (Present Participle) … 補語として使われる(目的格補語)

I found her reading a book. 私は彼女が本を読んでいるのを見つけました」

They kept the engine running. 彼らはエンジンを動かし続けました。

8 現在分詞 (Present Participle) … 分詞構文

主節の動詞の動作と同時に起こる動作や、その理由や条件を示すために使われます。

Walking down the street, I saw an old friend. 通りを歩いていると、旧友に会いました

She left the room crying. 彼女は泣きながら部屋を出ました

He sat watching TV. 彼はテレビを見ながら座っていました

[POINT] Vp.p.識別

1 過去形 (Past Tense) … 規則動詞の過去形として使われる」

She played tennis. 彼女はテニスをしました。

They walked to school. 彼らは学校へ歩いて行きました。

2 受動態 (Passive Voice. … be 動詞と組み合わせて受動態を作る」

The cake was eaten by the children. ケーキは子供たちに食べられました。

The house was built in 1990. その家は 1990 年に建てられました。

3 完了形 (Perfect Tense. … have 動詞と組み合わせて完了形を作る」

She has finished her homework. 彼女は宿題を終えました。

They had left before I arrived. 彼らは私が到着する前に出発していました。

4 過去分詞 (Past Participle. … 名詞を修飾する形容詞として使われる (名詞を前から修飾。

The broken vase was carefully repaired. 壊れた花瓶は慎重に修理されました。

The painted wall brightened up the room. 塗られた壁は部屋を明るくしました。

5 過去分詞 (Past Participle. … 名詞を修飾する形容詞として使われる (後置修飾。

The vase broken by the wind was priceless. 風で壊された花瓶は非常に貴重でした。

The wall painted by the artist looks beautiful. その画家によって塗られた壁は美しく見えます。

6 過去分詞 (Past Participle. … 補語として使われる (主格補語。

The entire plan seems completely broken. その計画全体が完全に壊れているように見えます。

He felt utterly exhausted after work. 彼は仕事の後で完全に疲れ切っていると感じました。

7 過去分詞 (Past Participle. … 補語として使われる (目的格補語。

She kept the windows closed. 彼女は窓を閉めたままにしました。

They found the project completed. 彼らはプロジェクトが完了した状態であることを確認しました。

8 分詞構文 (Participial Construction. … 分詞構文として使われる)

主節の動作や状況に関する追加情報を提供します。分詞構文は、原因、条件、譲歩、付帯状況などを表すことができます。

Seen from a distance, the mountain looks beautiful. 遠くから見ると、その山は美しく見えます。

Taken by surprise, she couldn't respond immediately. 驚かされたので、彼女はすぐに反応できませんでした。

[POINT] 基本 5 文型と There 構文

1 [第 1 文型]SV…主語(S) + 動詞(V)

特徴: 主語が動詞するだけのシンプルな文型。動詞は自動詞で、目的語は必要ありません。

よく使われる動詞: go(行く), come(来る), sleep(寝る), run(走る), swim(泳ぐ), arrive(到着する), laugh(笑う), cry(泣く)

The baby sleeps. 赤ちゃんが寝る。

He runs every morning. 彼は毎朝走る。

They arrived late. 彼らは遅れて到着した。

2 [第 2 文型]SVC… 主語(S) + 動詞(V) + 補語(C)

特徴: 主語が補語とイコールの関係にある文型。補語には名詞や形容詞が使われ、主語を説明します。

よく使われる動詞: be(~である), become(~になる), seem(~のように見える), appear(~のように見える), look(~に見える), sound(~に聞こえる), feel(~と感じる), stay(~のままでいる)

She is a teacher. 彼女は先生です。

He became very famous. 彼は非常に有名になった。

The soup tastes good. そのスープはおいしい。

✔ SVC の文型で使われる動詞

①「S=C だと思われる」

seem(~のように見える), appear(~のように見える、現れる)

She seems tired. 和訳: 彼女は疲れているように見える。

②「S=C だと感じる」

look(~に見える), feel(~と感じる), taste(~の味がする), smell(~の匂いがする), sound(~に聞こえる)

The soup tastes great. そのスープはおいしい。

③「S=C になる」

become(～になる), grow(成長して～になる), get(～になる), turn(～に変わる), go(～になる、変化する), come(～に至る), fall(～になる、陥る), run(～に変わる、走る)

He became a doctor. 彼は医者になった。

④「S=C のままで存在する」

remain(～のままでいる), keep(～のままでいる), continue(～の状態が続く), stay(～のままでいる), stand(～の状態で見ている), lie(～の状態で見ている)

The door remained closed. ドアは閉まったままだった。

⑤「S=C だと判明する」

prove(～だとわかる、判明する), turn out(～だと判明する)

The rumor proved false. その噂は誤りだと判明した。

3 [第3文型]SVO … 主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O)

特徴: 動詞の動作が目的語に向かって行われる文型。動詞は他動詞で、目的語が必須です。

よく使われる動詞: have(持つ), like(好き), eat(食べる), make(作る), see(見る), buy(買う), know(知っている), play(遊ぶ、演奏する)

She likes chocolate. 彼女はチョコレートが好きだ。

They have a big house. 彼らは大きな家を持っている。

I saw a movie yesterday. 私は昨日映画を見た。

4 [第4文型]SVOO… 主語(S) + 動詞(V) + 目的語 1(O1) + 目的語 2(O2)

特徴: 主語が目的語 1 に対して目的語 2 を与える文型。動詞は他動詞で、目的語が 2 つあります。

よく使われる動詞: give(与える), send(送る), teach(教える), tell(伝える), show(見せる), buy(買う), lend(貸す), offer(提供する)

She gave me a gift. 彼女は私にプレゼントをくれた。

He told us a funny story. 彼は私たちに面白い話をしてくれた。

They sent her a letter. 彼らは彼女に手紙を送った。

✔第4文型(SVO1O2)を第3文型(SVO2 前置詞 O1)に書き換えるときに、前置詞 to を用いる動詞と for を用いる動詞があります。

1. to 型(give 型)の動詞…通常、動作の方向や送り先を示す動詞

give(与える)send(送る)tell(伝える)show(見せる)lend(貸す)teach(教える)
pass(手渡す)

She gave him a book. 彼女は彼に本をあげた。

He sent me a message. 彼は私にメッセージを送った。

The teacher taught us math. 先生は私たちに数学を教えた。

2. for 型(make 型)の動詞…何かをしてあげるといふ行為を表す動詞
buy(買う)make(作る)cook(料理する)get(手に入れる)find(見つける)build(建てる)

She bought me a present. 彼女は私にプレゼントを買ってくれた。

He made us dinner. 彼は私たちに夕食を作ってくれた。

They built her a house. 彼らは彼女に家を建ててあげた。

5 [第5文型]SVOC… 主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O) + 補語(C)

特徴: 動詞の後に目的語と補語が続き、補語が目的語の状態や性質を説明する文型。

目的語と補語はイコールの関係にあります。

よく使われる動詞: make(～にする), call(呼ぶ), name(名付ける), keep(保つ), find(～とわかる), consider(～と考える), elect(選ぶ), appoint(任命する)

We made her the leader. 私たちは彼女をリーダーにした。

They call him a genius. 彼らは彼を天才と呼ぶ。

She keeps her room clean. 彼女は自分の部屋をきれいに保っている。

☑補語 C が、現在分詞、過去分詞、不定詞、原形不定詞の場合

1. 補語 C が「現在分詞」の第5文型…S + V + O + 現在分詞(C)

特徴: 現在分詞(動詞の-ing 形)を補語に使うことで、目的語(O)がある動作をしていることや、継続的な状態であることを表します。

I saw him running. 私は彼が走っているのを見た。

(○)「I」が主語、「saw」が動詞、「him」が目的語、「running」が補語です。「彼が走っている状態」を示しています。

2. 補語 C が「過去分詞」の第5文型… S + V + O + 過去分詞(C)

特徴: 過去分詞(動詞の-ed 形や不規則変化形)を補語に使うことで、目的語(O)が何かを「された状態」にあることを表します。

I had my hair cut. 私は髪を切ってもらった。

(○)「I」が主語、「had」が動詞、「my hair」が目的語、「cut」が補語で、「髪が切られた状態」を示しています。

3. 補語 C が「不定詞」の第5文型… S + V + O + 不定詞(to + 動詞の原形)(C)

特徴: 不定詞を補語に使うことで、目的語(O)がこれから何かを「する」ことや、目的語が何かを「される」ことを表します。

She wants him to stay. 彼女は彼にいてほしいと思っている。

(○)「She」が主語、「wants」が動詞、「him」が目的語、「to stay」が補語で、彼が「これからいること」を示しています。

4. 補語 C が「原形不定詞」の第5文型… S + V + O + 動詞の原形(C)

特徴: 原形不定詞(動詞の原形)を補語に使うことで、目的語(O)がある動作を「直接」行うことを表します。この形は「使役動詞」(make, let, have)や「知覚動詞」(see, hear, feel など)と一緒に使われます。

The teacher made the students write an essay. 先生は生徒たちに作文を書かせた。

(O)「The teacher」が主語、「made」が動詞、「the students」が目的語、「write」が補語で、学生たちが「直接作文を書く」ことを示しています。

- 6 **There 構文の例文**… There + be 動詞 + 主語 + 場所や時間を表す副詞(など)
- There are some apples on the table. テーブルの上いくつかのリンゴがある。
There were many people at the concert. コンサートには多くの人があった。
There seems to be a problem with the computer. コンピューターに問題があるようだ。

[POINT] **自動詞 (Intransitive Verb)と他動詞 (Transitive Verb)**

1 **自動詞 (Intransitive Verb)**

定義: 自動詞は、目的語を必要としない動詞です。主語が行う動作が、そのまま完結します。文型としては、第 1 文型(SV)でよく使われます。

特徴:

自動詞は、主語が何をしたのか、どこへ行ったのかといった情報だけで完結します。

目的語がないため、「何を？」や「誰を？」という疑問には答えません。

自動詞の後ろには、しばしば副詞や前置詞 + 名詞の形(修飾語)が続くことがあります。

The baby sleeps. 赤ちゃんが寝る。

(O)「sleeps(寝る)」は自動詞で、目的語を必要としません。

She laughed loudly. 彼女は大声で笑った。

(O)「laughed(笑った)」は自動詞で、「loudly(大声で)」は修飾語です。

They arrived at the station. 彼らは駅に到着した。

(O)「arrived(到着した)」は自動詞で、「at the station(駅に)」は前置詞句です。

2 **他動詞 (Transitive Verb)**

定義: 他動詞は、目的語を必要とする動詞です。主語が行う動作が、何かに影響を与えたり、何かを対象にして完結します。文型としては、第 3 文型(SVO)、第 4 文型(SVOO)、第 5 文型(SVOC)で使われます。

特徴:

他動詞は、動作の対象が必要です。つまり、「何を？」や「誰を？」という疑問に答える目的語が必要です。

目的語がないと、文が不完全になり、意味が通じなくなります。

She reads a book. 彼女は本を読む。

(○)「reads(読む)」は他動詞で、「a book(本)」が目的語です。これにより、動作の対象が明確になります。

He gave me a gift. 彼は私にプレゼントをくれた。

(○)「gave(与えた)」は他動詞で、「me(私に)」が間接目的語、「a gift(プレゼント)」が直接目的語です。

They called him a genius. 彼らは彼を天才と呼んだ。

(○)「called(呼んだ)」は他動詞で、「him(彼を)」が目的語、「a genius(天才)」が補語です。

3 自動詞と他動詞では、意味が異なる代表的な動詞

1. run…自動詞:「走る」他動詞:「～を運営する」

He runs. 彼は走る。

(○)run は自動詞で、目的語を取らず「走る」という意味です。

He runs a company. 彼は会社を経営している。

(○)run は他動詞で、目的語 a company があります。「会社を運営する」という意味です。

2. leave…自動詞:「出発する」「去る」他動詞:「～を去る」「～を残す」

The train leaves at 5 p.m. 列車は午後5時に出発する。

(○)leave は自動詞で、目的語を取らず「出発する」という意味です。

She left the room. 彼女は部屋を去った。

(○)leave は他動詞で、目的語 the room があります。「部屋を去る」という意味です。

3. stand…自動詞:「立つ」「立っている」他動詞:「～を我慢する」「～を耐える」

He stood by the window. 彼は窓のそばに立っていた。

(○)stand は自動詞で、目的語を取らず「立つ」という意味です。

I can't stand the noise. 私はその騒音に耐えられない。

(○)stand は他動詞で、目的語 the noise があります。ここでは「耐える」という意味です。

4. attend 自動詞:「注意を払う」「世話をする」(attend to)他動詞:「～に出席する」「～に参加する」

He attended to the customer. 彼はその顧客に対応した。

(○)attend は自動詞で、to を伴って、「～に注意を払う」や「～に世話をする」という意味になります。She attended the meeting. 彼女は会議に出席した。

(○)attend は他動詞で、目的語 the meeting があります。「出席する」という意味です。

[ADVANCE] 自動詞 (Intransitive Verb) と他動詞 (Transitive Verb) の意味の違い

1 I know Shohei. と I know of Shohei. の違い

1. I know Shohei. 他動詞

説明: ここで使われている「know」は他動詞です。「Shohei」は「know」の直接目的語で、動作の対象です。つまり、話者は Shohei を直接知っていて、彼のことをよく知っている(面識がある)という意味になります。

重要 I know Shohei. = 私は Shohei を知っている (直接的) 。

2. I know of Shohei 自動詞

説明: 「know of」は「of」を伴い、「～について知っている」という意味になります。ここでは「Shohei」は直接的な対象ではなく、「Shohei についての情報を知っている」という間接的な意味を持ちます。話者は Shohei についての情報を知っているが、直接的な接触や深い知識はないかもしれません。

重要 I know of Shohei. = 「私は Shohei について知っている (間接的)」。

2 He kicked the ball. と He kicked at the ball. の違い

1. He kicked the ball. 他動詞

説明: 「kick」は他動詞で、「the ball」はその直接目的語です。この文では、彼がボールに対して直接的にキックをした(実際にボールを蹴った)という意味になります。

例: 「He kicked the ball.」=「彼はボールを蹴った(直接的に蹴った)」。

2. He kicked at the ball. 自動詞

説明: kick at は at を伴い、「～に向かってキックを試みた」という意味になります。この場合、彼がボールを蹴ろうとしたが、実際にボールに当たったかどうかは不明です。動作は間接的で、目標に向かって試みたことを示します。

重要 He kicked at the ball. = 彼はボールを蹴ろうとした(間接的にキックを試みた)。

3 I believe you. と I believed in God. の違い

1. I believe you. 他動詞

説明: 「believe」は他動詞で、「you」はその直接目的語です。ここでは、話者が相手の言葉や存在を信じていることを示します。つまり、あなたが言っていることを信じる、またはあなたを信じるという意味になります。

重要 I believe you. = 私はあなたを信じる(直接的に信じる)。

2. I believed in God. 自動詞

説明: 「believe in」は「in」を伴い、「～の存在を信じる」「～を信仰する」という意味になります。ここでは、「God(神)」に対する信仰や信念を示しており、対象は間接的です。「believe in」は信仰や価値観に関連して使われます。

重要 I believed in God. = 私は神を信じていた(間接的な信仰、信念)。

[POINT]補語と目的語の見分け方(名詞の場合)

1 名詞が補語 (Complement) の場合

定義: 名詞が補語として機能する場合、その名詞は直前の主語(S)や目的語(O)とイコール(=)の関係にあります。この関係では、名詞は主語や目的語が何であるか、またはどのような状態であるかを説明します。

S=C(主語=補語):この場合、補語は主語とイコール(=)の関係にあり、主語を説明します。

She is a doctor. 彼女は医者です。

(○)She(彼女)が主語、a doctor(医者)が補語で、彼女が医者であることを示しています。ここで She = a doctor という関係が成り立ちます。

O=C(目的語=補語):この場合、補語は目的語とイコール(=)の関係にあり、目的語を説明します。

They elected him president. 彼らは彼を大統領に選んだ。

(○)him(彼を)が目的語、president(大統領)が補語で、彼が大統領であることを示しています。ここで him = president という関係が成り立ちます。

2 名詞が目的語 (Object) の場合

定義: 名詞が目的語として機能する場合、その名詞は直前の動詞や他の名詞要素とノットイコール(≠)の関係にあります。この関係では、名詞は動詞の対象(動作を受けるもの)として機能します。

S≠O(主語≠目的語):目的語は、主語が動作を行う対象であり、主語とイコール(=)の関係にはありません。

She reads a book. 彼女は本を読む。

(○)She(彼女)が主語、a book(本)が目的語で、読む動作の対象です。ここで She ≠ a book という関係が成り立ちます。

O1≠O2(目的語1≠目的語2):

第4文型(SVOO)では、2つの目的語が出てきます。これらは通常イコール(=)の関係にはなく、目的語1は目的語2の受け手や対象になります。

He gave her a gift. 彼は彼女にプレゼントをあげた。

(○)her(彼女に)が目的語1(O1)、a gift(プレゼント)が目的語2(O2)で、プレゼントを受け取るのは her です。ここで her ≠ a gift という関係が成り立ちます。

3 まとめ

補語 (Complement): 名詞が補語の場合、直前の主語(S)や目的語(O)とイコール(=)の関係にあります。補語は、主語や目的語の状態や性質を説明します。

S=C: 主語と補語がイコールの関係。

O=C: 目的語と補語がイコールの関係。

目的語 (Object): 名詞が目的語の場合、直前の動詞や他の名詞要素とノットイコール(≠)の関係にあります。目的語は、動作の対象となります。

S≠O: 主語と目的語がノットイコールの関係。

O1≠O2: 2つの目的語がノットイコールの関係。

[POINT] 動詞の型

- V A into B[変化や変換/導入や移行/挿入や付加/変容や進化/強制や誘導/説得/分類や分割]
 1. 変化や変換 (transformation)
 - ・turn A into B「AをBに変える」
 - He turned water into wine. 彼は水をワインに変えた。
 - ・convert A into B「AをBに変換する」
 - They converted the garage into a living room. 彼らはガレージを居間に改装した。
 - ・translate A into B「AをBに翻訳する」
 - She translated the novel into French. 彼女はその小説をフランス語に翻訳した。
 2. 導入や移行 (introduction/transition)
 - ・lead A into B「AをBに導く」
 - The discussion led into a debate. その議論は討論に発展した。
 - ・push A into B「AをBに押し進める」
 - The new policy pushed the company into bankruptcy. 新しい方針が会社を破産に追い込んだ。
 - ・introduce A into B「AをBに導入する」
 - The teacher introduced new concepts into the curriculum. 教師は新しい概念をカリキュラムに導入した。
 3. 挿入や付加 (insertion/addition)
 - ・insert A into B「AをBに挿入する」
 - She inserted the key into the lock. 彼女は鍵を錠に差し込んだ。
 - ・incorporate「AをBに組み込む」
 - He incorporated the feedback into his report. 彼はフィードバックを報告書に組み込んだ。
 - ・blend A into B「AをBに混ぜる」
 - She blended the ingredients into the batter. 彼女は材料を生地に混ぜた。
 4. 変容や進化 (transformation/evolution)
 - ・develop A into B「AをBに発展させる」
 - She developed the idea into a full-fledged plan. 彼女はそのアイデアを本格的な計画に発展させた。
 - ・change A into B「AをBに変える」

They changed the policy into a more flexible system. 彼らは方針をより柔軟なシステムに変更した。

・modify「AをBに修正する」「AをBに変更する」

The engineer modified the design into a more efficient structure. エンジニアはその設計をより効率的な構造に修正した。

5. 強制や誘導 (force/induce)

・force A into B「AをBに強制する」

The threat forced him into compliance. その脅威が彼を従わせた。

・trick A into B「AをBに騙す」

They tricked him into signing the contract. 彼らは彼を騙して契約に署名させた。

・manipulate A into B「AをBに操作する」

She manipulated him into making a decision. 彼女は彼を操作して決断させた。

6. 説得 (persuasion)

・talk A into Ving「Aを説得してBをさせる」

She talked him into going to the party. 彼女は彼を説得してパーティーに行かせた。

・persuade A into Ving「Aを説得してBをさせる」

They persuaded her into accepting the offer. 彼らは彼女を説得してその申し出を受け入れさせた。

・convince A into Ving「Aを説得してBをさせる」

He convinced me into joining the team. 彼は私を説得してチームに参加させた。

7. 分類や分割 (classification/division)

・break A into B「AをBに分割する」

He broke the chocolate into pieces. 彼はチョコレートを小片に分割した。

・classify A into B「AをBに分類する」

The librarian classified the books into categories. 司書は本をカテゴリーに分類した。

・divide A into B「AをBに分ける」

She divided the cake into eight slices. 彼女はケーキを8つに分けた。

・split A into B「AをBに分割する」

They split the project into smaller tasks. 彼らはプロジェクトを小さなタスクに分割した。

・organize A into B「AをBに整理する / AをBに構成する」

She organized her notes into separate folders. 彼女はメモを別々のフォルダーに整理した。

・group「AをBに分類する / AをBのグループに分ける」

The teacher grouped the students into pairs. 先生は生徒をペアに分けた。

4 V A with B[補充や付加/装飾や満たす/手段や道具/協力や共有/比較や関連性/]

1. 供給や付加 (supply/addition)

・provide A with B「AにBを提供する」

They provided the students with textbooks. 彼らは学生に教科書を提供した。

・supply A with B「AにBを供給する」

The company supplied the workers with safety equipment. その会社は労働者に安全装置を供給した。

・furnish A with B「AにBを備え付ける」

They furnished the room with new furniture. 彼らは部屋に新しい家具を備え付けた。

2. 装飾や満たす行為 (decoration/filling)

・decorate A with B「AをBで装飾する」

She decorated the cake with fresh berries. 彼女はケーキを新鮮なベリーで飾った。

・fill A with B「AをBで満たす」

He filled the vase with water. 彼は花瓶に水を満たした。

・cover A with B「AをBで覆う」

The table was covered with a white cloth. テーブルは白い布で覆われていた。

3. 手段や道具を使う行為 (use of tools/means)

・equip A with B「AをBで装備する」

They equipped the soldiers with night-vision goggles. 彼らは兵士にナイトビジョンゴーグルを装備させた。

・arm A with B「AをBで武装させる」

The rebels were armed with rifles. 反乱軍はライフルで武装していた。

・load A with B「AにBを積む」

They loaded the truck with supplies. 彼らはトラックに物資を積んだ。

4. 協力や共有 (cooperation/sharing)

・share A with B「AをBと共有する」

He shared the news with his friends. 彼はそのニュースを友人たちと共有した。

・entrust A with B「AをBに任せる」

She entrusted him with the task. 彼女はその仕事を彼に任せた。

5. 比較や関連性を示す (comparison/association)

・compare A with B「AをBと比較する」

She compared the painting with a photograph. 彼女はその絵を写真と比較した。

・associate A with B「AをBと関連付ける」

People often associate chocolate with happiness. 人々はよくチョコレートを幸せと関連付ける。

・identify A with B「AをBと同一視する / AをBとして認識する」

She identified the suspect with the help of the witness. 彼女は目撃者の助けを借りて容疑者を特定した。

1 V A to B [移動や送付/伝達や報告/提供や提示/割り当てや命令/関連や帰属/適合や調整/従属]

1. 移動や送付 (movement/transfer)

・send A to B「AをBに送る」

She sent the letter to her friend. 彼女は友人に手紙を送った。

・bring A to B「AをBに持ってくる」

He brought the book to the library. 彼はその本を図書館に持ってきた。

・take A to B「AをBに連れて行く」

She took her children to the park. 彼女は子供たちを公園に連れて行った。

2. 伝達や報告 (communication/reporting)

・explain A to B「AをBに説明する」

He explained the situation to his boss. 彼は上司に状況を説明した。

・announce A to B「AをBに発表する」

They announced the results to the public. 彼らは結果を公表した。

・reveal A to B「AをBに明かす」

She revealed the secret to her friend. 彼女は友人に秘密を明かした。

3. 提供や提示 (offering/presenting)

・give A to B「AをBに与える」

He gave the gift to his sister. 彼は妹にプレゼントを渡した。

・offer A to B「AをBに提供する」

They offered help to the victims. 彼らは被害者に援助を申し出た。

・pass A to B「AをBに渡す」

He passed the salt to his friend. 彼は友人に塩を渡した。

4. 指示や命令 (direction/command)

・assign A to B「A を B に割り当てる」

The teacher assigned the homework to the students. 先生は生徒に宿題を出した。

・direct A to B「A を B に指示する」

He directed the question to the expert. 彼はその質問を専門家に向けた。

5. 関連や帰属 (association/attribution)

・attribute A to B「A を B のせいにする / A を B に帰する」

He attributed his success to hard work. 彼は成功を努力のおかげだと考えた。

・relate A to B「A を B に関連付ける」

She related the story to her own experiences. 彼女はその話を自分の経験に関連付けた。

・compare A to B「A を B に例える」

He compared his struggles to climbing a mountain. 彼は自分の苦勞を山登りに例えた。

6. 適合や調整 (adaptation/adjustment)

・adapt A to B「A を B に適合させる」

They adapted the curriculum to meet students' needs. 彼らはカリキュラムを学生のニーズに適合させた。

・adjust A to B「A を B に調整する」

She adjusted the chair to her height. 彼女は椅子を自分の身長に合わせて調整した。

7. 従属 (subjection)

・subject A to B「A を B に従属させる」

The king subjected the land to his rule. 王はその土地を自らの支配下に置いた。

・submit A to B「A を B に服従させる」

They submitted the proposal to the committee. 彼らは提案を委員会に提出した(服従の意味でも使われる)。

・commit A to B「A を B に委ねる / A を B に従属させる」

She committed herself to the project. 彼女はそのプロジェクトに全力を注いだ。

2 V A on B[依存や基づける/影響や作用/配置]

1. 依存や基づける行為 (dependence/basing)

・base A on B「A を B に基づける」

He based his argument on the latest research. 彼は最新の研究に基づい

て自分の主張を展開した。

blame A on B「AをBのせいにする」

・She blamed the delay on traffic. 彼女は遅れを交通のせいにした。

2. 影響や作用を与える行為 (influence/impact)

・focus A on B「AをBに集中させる」

She focused her energy on the new project. 彼女は新しいプロジェクトにエネルギーを集中させた。

・impose A on B「AをBに課す」

The government imposed restrictions on travel. 政府は旅行に制限を課した。

3. 配置 (placement/positioning)

・place A on B「AをBに置く」

He placed the book on the shelf. 彼は本を棚に置いた。

・rest A on B「AをBに載せる」

She rested her head on his shoulder. 彼女は彼の肩に頭を載せた。

・bestow A on B「AをBに授ける / AをBに与える」

The king bestowed honors on the knight. 王は騎士に栄誉を授けた。

3 V A from B[移動や除去/保護や防止/区別や判別/除外や排除]

1. 移動や除去 (movement/removal)

・remove A from B「AをBから取り除く」

They removed the old furniture from the room. 彼らは古い家具を部屋から取り除いた。

・separate A from B「AをBから分離する」

She separated the egg whites from the yolks. 彼女は卵白を卵黄から分けた。

・extract A from B「AをBから抽出する」

The dentist extracted the tooth from his patient. 歯科医は患者の歯を抜いた。

2. 保護や防止 (protection/prevention)

・protect A from B「AをBから守る」

They protected the village from the storm. 彼らは村を嵐から守った。

・shield A from B「AをBから保護する」

He shielded his eyes from the bright sunlight. 彼は明るい日差しから目を守った。

・defend A from B「AをBから防御する」

The soldiers defended the castle from the invaders. 兵士たちは城を侵

略者から守った。

3. 区別や判別 (distinction/identification)

・distinguish A from B「A を B と区別する」

It's hard to distinguish fact from fiction. 事実とフィクションを区別するのは難しい。

・differentiate A from B「A を B と識別する」

She can differentiate between good and bad apples. 彼女は良いリンゴと悪いリンゴを見分けることができる。

・separate A from B「A を B と区別する / A を B と分ける」

We must separate truth from lies. 私たちは真実と嘘を区別しなければならない。

4. 除外や排除 (exclusion/elimination)

・exclude A from B「A を B から除外する」

They excluded him from the meeting. 彼らは彼を会議から除外した。

・ban A from B「A を B から禁止する」

The school banned students from using phones in class. 学校は生徒が授業中に携帯電話を使うことを禁止した。

・prevent A from B「A を B から防ぐ」

They prevented the disease from spreading. 彼らは病気が広がるのを防いだ。

4 V A of B [分離/想起・通知/警告・告知/除外や排除]

1. 分離 (separation)

・rob A of B「A から B を奪う」

The thief robbed him of his wallet. 泥棒は彼から財布を奪った。

・deprive A of B「A から B を奪う / A に B を与えない」

The disease deprived him of his strength. その病気が彼から体力を奪った。

・strip A of B「A から B を剥奪する」

They stripped him of his title. 彼らは彼から称号を剥奪した。

・rid A of B「A から B を取り除く」

She rid the garden of weeds. 彼女は庭から雑草を取り除いた。

・clear A of B「A から B を片付ける / A から B を取り除く」

He cleared the table of dishes. 彼はテーブルから食器を片付けた。

・relieve A of B「A から B を取り除いて楽にする」

The medicine relieved him of pain. その薬が彼の痛みを和らげた。

2. 想起・通知 (reminding/notification)

・remind A of B「A に B を思い出させる」

This song reminds me of my childhood. この歌を聞くと子供時代を思い出す。

・inform A of B「AにBを知らせる」

He informed her of the meeting time. 彼は彼女に会議の時間を知らせた。

・notify A of B「AにBを通知する」

The company notified employees of the policy change. 会社は従業員に方針変更を通知した。

・convince A of B「AにBを納得させる / AにBを確信させる」

She convinced him of the importance of education. 彼女は彼に教育の重要性を納得させた。

・assure A of B「AにBを確信させる / AにBを保証する」

He assured me of his support. 彼は私にサポートを保証してくれた。

3. 警告・告知 (warning/announcement)

・warn A of B「AにBを警告する」

She warned him of the dangers. 彼女は彼に危険性を警告した。

・advise A of B「AにBを忠告する / AにBを知らせる」

The doctor advised him of the risks. 医者は彼にリスクを忠告した。

・notify A of B「AにBを通知する」

They notified the tenants of the rent increase. 彼らは借家人に家賃の値上げを通知した。

5 V A of B[代替・誤認/理由・目的/交換・取引]

1. 代替・誤認 (substitution/misidentification)

・substitute A for B「AをBの代わりにする」

He substituted sugar for honey. 彼は砂糖の代わりに蜂蜜を使った。

・take A for B「AをBだと誤って思う / AをBとして受け取る」

He took her silence for agreement. 彼は彼女の沈黙を同意だと受け取った。

・mistake A for B「AをBと間違える」

She mistook him for his brother. 彼女は彼を彼の兄弟と間違えた。

2. 理由・目的 (reason/purpose)

・thank A for B「AをBの理由で感謝する」

She thanked him for his help. 彼女は彼の助けに感謝した。

・admire A of B「AをBの理由で称賛する」

I admire him for his courage. 私は彼の勇気を称賛している。

・scold A of B「AをBの理由で叱る」

She scolded the child for being late. 彼女はその子供を遅刻したことで叱った。

3. 交換・取引 (exchange/trade)

・exchange A of B「AをBと交換する」

He exchanged his old car for a new one. 彼は古い車を新しい車と交換した。